

# 防災・減災の輪

かがわ自主ぼう連絡協議会  
会報 第195号(2023. 5. 1)  
事務局 川西地区自主防災会

## 善通寺市 辻村市長さんにお話しを伺いました

善通寺市 : 辻村市長・秋山自治防災課長・西岡自治防災課参事

かがわ自主ぼう連絡協議会 : 岩崎会長・大鹿理事・岡監事

令和5年4月12日 善通寺市役所 市長応接室にて

### 1. 善通寺市の概要

善通寺市は、香川県の北西部に位置する面積 39.93 km<sup>2</sup>、人口約3万人のコンパクトな市です。気候は、瀬戸内海気候に属しており、温暖寡雨で、冬期は比較的暖かく、平地での積雪はめったに見られません。

この地域の歴史は古く、有岡古墳群をはじめとする大小400基もの古墳や数々の貴重な遺跡が残されているように、古代から文化の中心となっていました。中世には、弘法大師（空海）や智証大師（円珍）の生誕の地として信仰のまちとなり、平安時代初頭に唐から帰朝した弘法大師が建立した善通寺を中心に栄えました。明治時代に入ると陸軍第11師団が置かれ軍隊のまちになると市街地の整備が進みました。戦後は、師団施設跡に公共機関等が立地され、教育・文化都市として新たに出発しました。そのため、現在も市街地中心部には、陸上自衛隊善通寺駐屯地、独立行政法人国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構四国研究センター、四国学院大学などにより、独特な市街地を構成しています。また、令和5年度は市制施行70周年、また、弘法大師空海御誕生1250年の記念の年であり、周年記念の関連イベントの開催を予定しています。



花に囲まれた新庁舎



正面玄関 空海号も止まる

新庁舎は公園の中にあるような素晴らしく、ゆったりとした環境に位置しておりました、市長さんの公約どおりの良い市民サービスが出来る事と察します。花木に付きましても名前のプレートが付いており、NHKの朝ドラ「らんまん」でないですが地域の草花、花木が多く植えられており植物園の様です。子どもたちが遠足に来てもしっかり勉強になると思いました。皆様一度見学に行かれて、令和の建物新庁舎、明治の建物偕行社を御覧頂き、偕行社カフェでお茶でも飲んでお楽しみ下さい。



ゆうゆうロード（イチョウ並木と五重塔）



旧善通寺偕行社（国の重要文化財）



王墓山古墳（有岡古墳群）



四角スイカ（装飾品）

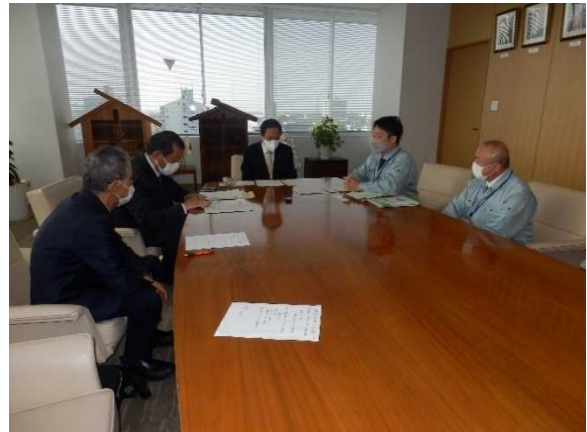


讃岐もち麦「ダイシモチ」



市内より五岳山を望む

## 2. 辻村市長さんインタビュー



### 辻村市長のプロフィール

生年月日：1961(昭和36年)8月7日

経歴：1984年 東海大学工学部 卒業

1998年 香川県議会議員 初当選

2017年 香川県議会 議長

2022年 香川県議会議員(7期24年)を辞職

〃 善通寺市長初当選(現在1期目)

現在の役職等：香川県市長会 会長

仲善広域シルバー人材センター 理事長

善通寺市土地改良区 理事長 等々

政治家になった動機：バブル崩壊後、何もかもが右肩下がりになった日本社会で、香川県、善通寺市を活力があり、魅力ある住みたい街にするため。

好きな言葉：不撓不屈、草莽崛起

好きな食物：うどん、キウイ、ダイシモチムギ、オリーブ牛

**岩崎会長** かがわ自主ぼう連絡協議会で発行しております、会報「防災・減災の輪」195号になります。県内の首長さんのインタビューで廻っております。

市長さん善通寺市をどのような街づくりを目指して行きたいお考えでしょうか。

**辻村市長** 昨年市長選挙に出た時のマニフェストにも書きましたが、非常に人口減少、少子高齢化が進んでおり、特に若い人が都会に出て行って帰ってこない状況にあります。善通寺市が未来に生き残る街にするには、色々な知恵を絞ってブランディン

グをしていく必要があります。子どもたちのシビックプライド「郷土愛」を育むことで、善通寺市で生まれた子が善通寺市に帰ってくるよう、善通寺市をもっと賑やかにすることができないかと色々取り組んでまいります。マニフェストにも取り上げましたデジタル田園都市構想は、色々とデジタル技術を活用して、これまでは都会でしか出来なかった仕事を、田舎で住みながら出来るような環境を整備するものです。善通寺市では令和5年2月に、これまでの総合会館を大幅にリニューアルして、新たな学びと交流の場である「ZENキューブ」をオープンし、そこでコワーキングスペースを設けております。また、将来的な雇用創出を目的として企業誘致の促進のほか、子育てしやすい環境の整備や、学んだり遊んだりする事が面白くなる街づくりを考えています。私が市長になってからは、賑わいの創出としてマルシェを度々開催するほか、市の庁舎内にある市立図書館を核として、様々な子育ての取組みや親子で学び、来て遊んで楽しい街づくりを推進しています。また、善通寺市が再生するためには、インターチェンジがある利点を活用した街づくりをこれからも色々と検討中がございます。これがマニフェストであります、就任以来11カ月間にどれくらい進捗しているかという資料です。

高齢者から子どもまで「住んでよかった」と実感できるよう強い使命感をもって各施策に取り組んでいきます。

- 地元産業を元気にする善通寺市のブランド製品づくりと販路拡大の支援を行いたい、将来有望産業の誘致を行いたい。
- 高齢者が暮らしやすい街にしたい。そのために「外出支援サービス」の拡充を図りたい、更に医療機関と連携して「健康寿命」を上げたい。
- 子育てしやすい善通寺市にしたい。そのために妊娠、出産、子育てのワンストップ支援窓口の設置を行いたい。
- 災害から市民を守れる街にしたい。そのために要支援者避難対策の総点検と高齢社会に対応した地域防災体制の整備を図りたい。
- 街の魅力を更にアップさせたい。  
四国遍路の聖地「総本山善通寺」への観光振興をはかりたい。  
弘法大師空海御誕生1250年記念祭を成功させたい。

このほかにもやりたい事がいっぱいありますが、誌面のこともありますので、後は省略させていただきます。

**岩崎会長** この資料使わせて頂きます。善通寺市の街づくりの抱負ありがとうございました。さて、ご当地はお大師さんが生まれた街でもあり、歴史面において伝統は県内でも有数の所であります。

**辻村市長** 元々土器川の流れが善通寺市を通っていたので、地下水が非常に豊富であります。その流れから生まれたのが、古墳群であり、お大師さんであり、陸上自衛隊であったりする訳です。善通寺市の伝統と文化を大切にしたい街づくりを考えております。

**岩崎会長** 子供の時から、お袋に連れられてお寺参りに善通寺によく来ておりました、やっぱり思い出があります、心を落ち着ける小さい時からお袋に連れてこられていた、たぶん今思うとお袋も悩みがある時にお寺参りに土器川から歩いて来ておりました、お大師さまや周りのお寺さんにお参りして、気持ちが落ち着いたと思います。

**辻村市長** 善通寺市は小さい面積ですが、大学もあり、大きな病院もあり、国の農業研究機関があり、陸上自衛隊があり等々非常にコンパクトに凝縮されています。また、お大師さんの所縁の四国遍路八十八カ所の内の五カ寺があり、歴史と文化が感じられるような街並みが特徴です。

**岩崎会長** 五岳山に春はお花が咲いて綺麗だと言われたので、行ってみたいです、私ある会社のカレンダーの写真を担当しております。

**辻村市長** 私の部屋にもカレンダー貼っております。



善通寺五岳の里 市民集いの丘公園



藤の花白と紫が満開でした

**岩崎会長** 大鹿さんから、改めてお聴きになりたい事がありましたら、一緒に聴きましょう。

**大鹿理事** 今度の自治防災課は全国に先駆けての機構改革の中で、あまり今まで聞いた事が無いです。非常に密接な関係だと言う事はよく存じ上げておりますが、はっきりと自治防災と打ち出されたのは、注目に値するのではないかと、思っております。

**辻村市長** 昨年度、大鹿さんを始め自治会長の方に、皆様にお寄り頂きご意見を伺った中で地域コミュニティの問題において、自治会の加入率が下り、特にゴミ関係の収集が不公平になると言う事で、地元で色々と再検討を言われていたことを受けまして、今一度、組織とか分別の方法についても検討しており、これからの高齢化社会に合うような形を模索しております。その先駆けとして自治防災課を創設し、自治と防災を統合した訳です。

**大鹿理事** かがわ自主ぼうの役員会に参加しておりますが、いろんな情報交換の場で善通寺市と言うのは、8つの地区があり、自主防災組織と言うのは今非常に活発に活動され、役員は自治会の方とほとんど重なっており、非常に私はいつも自主防災活動を自慢して発言をさせて貰っております。

**辻村市長** 他の市を見に行ったら事がないので分かりませんが、結構熱心に小学校校区毎に訓練をしており、参加者も多いのではないかと思います。

**岩崎会長** かがわ自主ぼう役員会の議長役で各市町のお話をお伺いしております、3月の役員会でも、大鹿さんの発表しておるのが、中身がどっしりして全体が非常に堅実に取り組まれております、アンケート調査して頂いても中身がしっかりしており、運営資金も皆それぞれの校区で担保しており、運営資金が少ない所は動きが悪い、その点善通寺市は出来ております。

**大鹿理事** 行政から色々な補助金があり、他の市町村より恵まれておると、考えております。

**岩崎会長** たまに、善通寺市にお電話差し上げても帰って来る言葉が皆様しっかりしております。役所、消防、自主防災会が密接な繋がりをきちっとしておかなければ、

いざ災害の時に大変な事になる、顔が見え声で分かるようになっておかないと災害対応が出来ないと思います。

**秋山課長** いざ不測の事態になった場合には、行政側もいろんな対応をしなければいけなくなります。大鹿会長が地元において自主防災活動に力を入れていただいていることは、住民が行政に頼ることなく自主、自立して自らが行動する訓練を、常日頃からやって頂いているということで、我々行政としても非常にありがたく思っております。フォローアップは、今まで通りやらせて頂きたいと思っておりますし、しっかりした基盤が御座いますので、そうしたものをこれまでよりも強化していただけるよう支援をしてまいりたいと考えています。



大鹿理事

岩崎会長

辻村市長

秋山課長

西岡参事

**岩崎会長** 善通寺市がお手本になってもらうような感じがします、継続して下さい。自治会を離して防災の話は出来ない、共助の話になりますとね、そういう面で名前までリンクしておる事は、これから尚一層僕ら期待して、これから研修に来るようになります。現状の取り組みは、主管の課からデータをいただいて、記事に載せて行きたいと思えます。これからの対策で御座いますが、南海トラフ地震についても、ある学者に聞くとここから10年、15年が一番大切な時期だと聞きますが、いつおこってもおかしくない現状です。ご存じのように海面水温が上がっており、変な所で大雨が降る様になりました、讃岐の国も一緒だと思いますので、そのあたりをどのようにバックアップされるのか、これからの施策展開の中でどのように織り込んで行くのか聞かせて下さい。

**辻村市長** 共助の面では、自主防災会と自治会を統合することで密にしようと言う事です。自助と言う面では、この度、総合防災ハザードマップをリニューアルしました。今までは一枚の地図に警戒区域を重ねて表示していたものを、災害毎に、洪水バージョン、ため池バージョン、土砂バージョンに分けてお示ししております。また、今回の総合防災ハザードマップは、災害時に自分はどうしたら良いのか、自分で自分のリスクを考えて頂いて、より効果的な避難行動がとれるよう「マイ・タイムラインカード」というものも添付しております。市広報5月号と一緒に全戸配布します。善通寺市は、弘法大師さんのおかげで災害が無いとの認識の方が多くいますが、過去を振り返ればそうでは無いことが分かります。昭和21年の南海地震では、沢山の家屋が倒壊したと聞いております。また、その他、昨年度から色々な保険会社と罹災証明に協力して頂ける協定を結んだり、自動車会社と避難所での電気支援の協定を結んだり、被災した中で冷たい食事を余儀なくされているとのニュースを見ましたので、香川県キッチンカー協会とも暖かい食事を供給して頂けるサービスの協定を結びました。予算にも限りがありますので、民間の活力もいただきながら知恵を絞り、こうした対策でカバーして、より充実した災害対策の取り組みをしてまいります。

**岩崎会長** 確かに、冷たい食べ物ですね、東北に行って応援しておっても、普通の定食といいますか、パックになった弁当を持って来ておりましたが、冷えたままでお汁も無い状態で食べておりましたが、お年寄りには体が衰弱しており食べられないようです、私共は朝の暖かいみそ汁に素麺を入れて出したり、夕食では豚汁を作ったり、温かい汁物を作り提供しました。食器類は何処も不足気味でした、石巻もそうだったし、陸前高田もそうだった。熊本に行っても食器が足りない状態でした。

**辻村市長** 最近ニュースで皆様ペットを連れて避難されるのを見ますね。

**岩崎会長** ペットを連れてきている人は避難所に入りやすく、自分の車で生活しておりましたら、別の病気(エコノミー症候群)になったりします。熊本地震から車の中で避難している人が多かった、食事とお手洗いを校舎の中に入って来る感じで、生活はほとんど自分の車の中で過ごしておりました、避難所では色々な団体との連携が大切です。理容師さんの組合でありましたら、頭を洗うサービスを一週間に一回でも日を決めて来てもらったら、お年寄りが物凄く喜んで頭がスカットすると言っておりました。



**秋山課長** 善通寺市としては、避難想定人数に対して既製品で段ボールベット、簡易ベッド、エアーマットを世帯で1個位当たる量を備蓄しております。

**岩崎会長** 家族の中でお年寄りとか、体調の悪い方に使ってもらったら宜しいですね。

**辻村市長** 食料については、アレルギー対応の食品備蓄も心がけて、一応5年間保存が出来る物をローテーションしております。

**岩崎会長** 食べ物は自助で家庭でも1週間分位蓄えて貰っておいたら、公助の食料備蓄に足すと相当大きなエネルギーになります。

**大鹿理事** 備蓄は行政に頼らず、各自で用意する呼びかけを作って行かなければなりません。

**辻村市長** 若い人はコンビニや24時間スーパーが開いていると考えているようです。

**大鹿理事** いざと成ると、そういう物は全く買えなくなる事を前提に考えてもらわないと、手に入らない訳ですから。

**岩崎会長** 東日本大震災でどの様に避難行動をしたか、消防庁、大学の先生が追跡調査した資料を見せてもらった、一番早く避難してくるのが20代や30代で、食料の備蓄しておらない、備蓄を持ってありますお年寄りは急いで避難して来ない、20～30代の若い人が良い場所先に抑えに駆る、お年寄りはゆっくりと避難してまいりますので一等場を取られており、その当たりの配慮がいるのかなと消防庁の人が書いておりました。確かに2月の始めに丸亀のゆめタウンで防災何でも相談コーナーを開設して2日間開催しました、やっぱり話しに乗ってくれるのはお年寄りでした、若い人はフーンと言う感じで通り過ぎて行きました、あの当たりをもう少し真剣に思って、子供さんが小さいので守ってあげないといきません親として、それが「南海地震やこうへんわ」と言って、60歳を過ぎた方からは、自宅でどう言う物を用意したら宜しいですかとよく聞かれました。

**秋山課長** 一昨年、宮城県の多賀城市に出張で行かせてもらいまして、住民の方からもお話を聞かせていただいたのですが、自然災害の後からやってくる混乱は人災の部分も多くあり、凄い勢いで復興されているのですが住民の心にも爪痕が残っていると感じました。復興の原動力は何なんですかと聞いたところ、「自然災害は仕方がないと諦めざる負えない気持ちがあるが、自然災害後の2次災害は起こしてはならない、起ったとしても備えをしておくことで救える命もある」、若い世代からお年寄りまでそうした強い共通認識があることを感じました。「意見が分かれても芯が一致しているので、復興のスピードが速いのです。」との話がありました。私も被災の現場に行っ  
て見なかったらこうした危機感は伝わらなかったと思います。この辺りは災害が少ないので若い人の防災意識は少ないと思いますが、東日本大震災のような悲惨な災害が  
起こってしまった事とその教訓を忘れずに伝えていくことで、住民の皆さんとともに  
危機感を持ちながら、行政としても災害に備えておくことが一番大事な事と思っ  
ております。

**岩崎会長** 一番やっぱり私たちが応援に行っても困るのがお手洗いです、陸前高田  
ある福祉施設の体育館でおる人の食事の世話をしました、そこだけで無く回りのお世  
話もしました、私たちの寝泊まりは福祉施設体育館倉庫の中で寝ておりました、そこ  
のトイレを男性は使ったらイケナイ、裏山に行ってスコップで処理するようにスコッ  
プを並べて有りました、女性に聞いてみたら水が無いから流してないし臭くて困った、  
仕事が終わって夜が来たら一時間半位車で走って24時間営業のコンビニを探して、  
そこで綺麗に体を洗って貰う事を每晚しました。

**辻村市長** 本市では、簡易トイレも大量に備蓄しております。

**西岡参事** 尿の凝固剤は皆さん備蓄していると思いますが、便の凝固剤は昔はありま  
せんでしたが、最近それが出来まして、善通寺市が一番に買ったのではないかと思っ  
ております。4年度末に購入しました。今後予算の端数を使いながら逐次備蓄してい  
こうと考えております。

**岩崎会長** 飲み水は被災地に送って頂けるが、生活用水をどのように確保したら良い  
か、市長さん、善通寺市はいつでも対応が早く返事が返ってきます、素晴らしいです。

**岡監事** 地区防災計画はどのような状況でしょうか。

**西岡参事** 地区防災計画は、各地区で作って行く方針です。地区は8地区ありますが、今回東部地区が完成しました。東部地区では、県の補助を使わせて頂いており、かなり良いものが出来ております。あとの7地区ですが、皆様が作ろうとしながらも結構作るのに労力がかかりますので、どんなイメージでどんなものを作るのか、色々な地区のひな形をこちらでも提示をさせていただきました。今後、各地区の特性を考えながら作成していただきたいと考えています。今、ご相談いただいているのが、竜川地区と筆岡地区です。もうぼちぼち完成するのではないかと考えています。一度まち歩きしてから完成させようとする地区や、完璧な物を作ろうとする地区、まずはまち歩きの地図だけでもいいんだという地区、どのルートで避難するのかが分かればいいので軽く作る地区と、色々なタイプがありますので、とにかく各地区の特色を出して、地区住民の意識レベルに合わせて作って下さいとお願いしております。今のところ1地区が完成し、2地区がもう少しでできそうという状況です。善通寺市の自主防災会では、「地区防災計画」と聞いたら作らないといけないという、皆の認識は出来ております。地区防災計画の中に必要な内容が「避難所運営マニュアル」に関する内容です。避難の仕方は分かったが避難所の開設等はどのようにして実施するのか、避難所開設時に避難所運営マニュアルが無いと困ってしまい、行政頼みとなってしまいます。ところが大規模災害時には、行政はやる事が山ほどあり、避難所で皆様のお世話をする訳にはいきません。避難所に避難してくる避難者たちをまとめて一つの自治会というイメージで、避難所を運営できるよう、それぞれに役職を決めて活動できるようマニュアルを作りましょう。そのマニュアルができると、それを使って訓練をしましょうとお願いをしております。今回、自治会の総会が市民会館でありますので、そこで防災講演として「避難所の運営」についてお話をする予定です。善通寺市の避難所運営マニュアルは出来る時には8地区揃って、全部、一緒にできると考えております。

**岡監事** 最初から完全な計画を作る必要はありませんので、ゆったりした計画からスタートして、訓練を重ねて仕上げて行きますと、皆様も理解が出来て、最高の計画が出来ると思います。

**西岡参事** 計画策定には、HUG（ハグ）ゲームで訓練をやってみるのが良いと思います。このゲームでは、「避難等でどうすればいいのか？」という問題が多く出てきま

すので、ゲームを通じてマニュアルを作らなければという意識が芽生えます。地区防災計画、避難所運営マニュアルにあまり問題意識以っておらない方には、HUG（ハグ）ゲームに参加してもらうことで、意識が高まりますので、各地区の自主防災会長が如何に音頭を取っていただくかが鍵となります。善通寺市の売りは「自治防災課」です。自治会長、自主防災会長と大変にリンクしやすい、良い改編というか、機構改革をしていただき、市長に感謝しております。自治防災課として有機的な活動ができるように、できたばかりの課ですが、一生懸命やって行きたいと思っております。

**岩崎会長** 理想の形になっておりますね。

**大鹿理事** おしゃるように善通寺市の場合は、行政の方がしっかり取り組んで頂いておるので我々自主防災の方も非常に頼りにしております、いい意味で色々な面で教えて頂ける事、地域としては非常に感謝しております。防災と言うのは、度重なる毎にどんどん内容が充実し身に付いて来ると思います、だから形式的な訓練よりも実践的な訓練を出来るだけ重ねて行く事が、私が今まで10何年間やってきた経験の中で一番感じております。それと子供さんの防災に対する関心を持って頂く事を私が地元で今も引き継いでおります、防災教育と言う事で学校にお願いして高学年を対象に映像を使ったり、ハザードマップを使ったりして非常に実践的な防災教育を続けて来ております、他の地区でもやっておりますがすべての地区でそう言う事をやって頂きたいなと思います、防災講演会も非常に効果はあると思います、その時、なるほどと感じて頂ければ頭の隅にいくらかでも残っておる訳です、そう言う物を積み重ねて行く事が知識になります、防災学習は回を重ねてやるべきだと思います、何回やりましたとか、やれと言われてやりましたとか、そう言う物でなくて、今市民の方も近い将来に何か起きるかも分からないと言う予感を皆様お持ちだと思います、これからは受け入れやすいのではないかと思います。

**西岡参事** 実践的な訓練で去年やったのが水道企業団との応急給水ですね。今各市町は、上水道の課が無くなり水道企業団に一括されております。市からすると欠落事項ですが、今南海トラフ地震が起きると善通寺市の災害想定は断水率60%、半分以上の地域は水が出ないと言う事は飲み水を確保するのにどうしたらいいのかとなった時に、水道企業団と訓練をしておかないとその問題点が見えてこないと思います。ちょうどいいタイミングで水道企業団がやろうした時に、善通寺市も併せてやろうとなり、各自主防災会長からも問題意識がでていたことから、断水したら水を何処でどの

様にして貰うのかという問題について、折角なので今無いルールもあるし、今作れるルールもある、そのルールの中でやらして貰いました。結構いい訓練になったのかなと思っております。四国で大きな地震が起きたら水道企業団のタンクローリーだけでは足りないので、中国地方から支援に来てくれるのです。今回は広島県、山口県からも水タンク車を持って来てくれて、皆で給水袋に水を入れて小学生はその重さの確認をしました。丸亀市でもその時、城辰小学校で訓練をしました。問題意識を持った訓練で、良い訓練でした。今年は例年以上に駆け回ってやろうと言う事でこれから組んでいきます。

**岩崎会長** お聴きしておりますと一番ここ善通寺市がかっちりとしております。

**岡監事** トイレが一番で次に飲み水が大事です、私は国分寺ですが旧国分寺町時代に南北の小学校に 60 トンの貯水タンクを設置しております、常には水道水が循環しており大きな地震時には独立した貯水タンクになり水が必要な時にポンプでくみ出し使用できるようになっております、今になって旧町時代にありがたい施設を作って下さり、感謝しております。

**辻村市長** 善通寺市は幸いに井戸や出水が沢山あり、電気さえどうにかなればタンクが無くても行けます、市民プールも全部井戸水です。

**岩崎会長** お話の整理が出来ました、市長さんのお陰で良い話が聞けました、ありがとうございました。これで本日の市長さんを囲んでの防災インタビューを終了します。

今月は最近の活動を紹介したいと思います。

## 地区防災セミナーに参加！

香川おもいやりネットワークの主催による地区防災セミナーに参加しました。  
令和5年4月30日（日）にさぬき市寒川町石田の介護老人保健施設ヌーベルさんがわ（総施設長 尾崎民子氏）において、午前9時から近隣の自治会、民生児童委員、石田地区防災会、更にはさぬき市社会福祉協議会の関係者も参加。もちろんヌーベルさんがわの職員の皆様も多く参加しての「防災訓練」をしました。

- ・ 第1部 避難所設営訓練  
ダンボールによる部屋作りとダンボールベット等の組立訓練
- ・ 第2部 「地区防災と福祉施設との関わり」について  
約1時間お話しをさせてもらった
- ・ 第3部 ヌーベルさんがわの駐車場において  
全員で「たきだし食」をつつきながら防災談議に花が咲きました



総括：皆さん顔の見える研修ができたことは実施した成果が大きく、今後につながっていくものと確信しています。

## 編集後記

5月の防災減災の輪は、善通寺市辻村市長さんとの対談を掲載させていただきました。ありがとうございました。